

公表

令和7年度 事業所における自己評価総括表

事業所名	フレンズジ滝谷店		
保護者評価実施期間	2025年9月20日 ～ 2025年10月20日		
保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 36
従業者評価実施期間	2025年7月1日 ～ 2025年8月1日		
従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
事業所向け自己評価表 作成日	2025年11月15日		

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
活動のプログラムやイベントが充実している	こまめにプログラムやイベントの企画ミーティングを行い、利用者の発達段階に応じたプログラムの立案や様々な体験ができるようなイベントの企画と提供を行っている。	今後も定期的にプログラムやイベントの企画ミーティングを行い、多くのアイデアを出しながらプログラムを企画していく。遠出の遠足イベントも検討していきたい。
会社内で職員が学べる機会がある	定期的に事業所内での研修を行っている。今年度は3店舗合同で虐待研修やABA研修、運動補助研修を行うことができた。	引き続きよりよいサービスを提供するために、その時の状況に応じた研修内容や職員が学びたいことを研修内容に取り入れていく。
保護者同士の交流を深める機会を設けている	昨年度の課題を踏まえ、親子で参加できるイベントの企画や定期的に保護者懇談会を開催し、保護者同士が交流を深められる機会を設けた。懇談会では滝谷店卒業生の保護者から就学についてや子育てのアドバイスをもらうことができた。	今後も利用者や保護者の要望を元に親子で気軽に参加できるようなイベントや定期的に保護者同士の交流が図れるような懇談会の機会を設けていく。

事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
職員が不足する日や場面がある	利用者10名に対し職員6名を基本としているが、職員の休みが重なってしまうことや、感染症の流行する時期には感染症の感染により、不足してしまう日がある。	職員の補充や療育に当たっている職員でできる内容のプログラムの立案、送迎ルートの変更などを工夫する。保護者への活動報告は連絡帳以外のツールを使用することを検討していく。
専門知識を学べる機会が少ない	言語聴覚士や作業療法士、心理士など、専門的な資格を持った職員が少なく専門知識が不足している。外部研修に出たり講師にきてもらい事業所内で研修しているが、機会は少ない。	年間の研修計画に沿って研修を行い、外部研修を受けに行く機会や講師に来てもらう研修の機会を増やす。